

第2回茨木市生涯学習施策推進委員会でのご意見、委員会後のご意見への対応・回答(案)

1 検討や確認が必要な内容のご意見

令和4年1月20日

委員名 (敬称略)	該当ページ (第2回資料 のページ数)	今回配布資 料の該当 ページ	意見内容	対応	
1	野崎 洋司	1	1	・「生涯学習とは」の文脈の整理 →(修正文例) (2行目から)学校教育や社会教育において行われる学習だけでなく、スポーツ、文化芸術、(中略)地域活動などで行われる様々な学習活動のことをいいます。	計画書1ページ内容に修正しました。
2	野崎 洋司	1	1	・本市は、生涯学習宣言を…目指しています。 →「I」は一般論の記述と図示にとどめ、この4行は全文削除してはどうか。なお、「II」で同じ内容の記述がされている。	
3	野崎 洋司	1	1	・「生涯学習のイメージ図」の修正 →(修正案)別途データによる	計画書1ページ内容に修正しました。
4	桑本 由利子	1	1	生涯学習の図について 内容の充実に伴い文字数が多くなっている。見て分かりやすい内容にならないか。	
5	内山 淳子	1	1	・P1図は、前案に比べて防災・福祉活動などの具体的活動が具体的に入ったことが良いと思う。現在は図上部の「教育」部分が目立つが、レイアウトを見直す、学校教育の「~における教育・学習」の文字を割愛するなど、よりバランスがとれると思う。また、社会教育と学習活動で重複している言葉(レクリエーション・ボランティア・趣味)については、学習活動のみで良いのではないか。	
6	内山 淳子	1	1	・樹木図(根・幹・枝)のモデル図は具体的学習活動の配置(枝の先に何を配置するか)が難しい場合があった。樹木図を用いる場合、茨木市では「生涯学習都市の独自性」を出すために、学びと活動の「循環」を描くことで、全市をあげて生涯学習に取り組むイメージが伝えられるのではないか。	
7	安藤 八枝	1	1	(委員会での意見) この図で、生涯学習がよりよいまちづくりにつながっていくようなイメージをする必要がある。学習活動により、どのようになっていくのか、視覚的にわかるようにしていく必要がある。	
8	山田俊一	1	1	図「生涯学習と様々な教育等のつながりについて」 教育の中に学校教育、学校外での教育(家庭教育、社会教育)を並記した図となっている。これは、生涯学習の中で知識の習得を重点においた学校教育と区分する意味合いがあるものと思う。 学校教育は、小・中・少年期より高校・大学青年期の学校教育は根幹になるもので、同時に家庭教育や社会教育も重要なことである。 学校教育、家庭教育と社会教育は相互に関係しているので、図としても相互関係を表現する形が良いのではないか。 また年代によって学校教育以外の取組み内容や重要度は変わってくるものと思うので表現できる図も考えることはできないか。	

1 検討や確認が必要な内容のご意見

9	野崎 洋司	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 国における生涯学習の4つの目標 →「国における生涯学習推進の4つの目標」としてはどうか。 	ご意見の内容に修正いたしました。
10	野崎 洋司	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進 →他との整合のため、「人生100年時代」と表記する。 	第3期教育振興基本計画において、「」がないためこのままの表記とします。
11	矢野 正	5 その他		「障害」の「害」の字について、大阪府でも時代的に漢字で使うのは法令などだけになっているので、できるだけひらがなの表記で統一されるほうがいいのではないかと。	市の文書は漢字で表記しているため、「障害」で統一します。
12	野崎 洋司	7	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 市における生涯学習の取組 →「市における生涯学習推進の取組」としてはどうか。 	ご意見の内容に修正しました。
13	安藤 八枝	8	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 市における生涯学習の取組 【第5次茨木市総合計画における方向性とその取り組み】 →『障がいのある方』についての文言が見当たらないように思うが、「○成人の学習推進」に含まれているとの解釈でよいか。 	第5次茨木市総合計画における生涯学習推進の方向性のみを抜粋しており、すべての市民を対象としています。
14	野崎 洋司	9	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携図の整理 →住民施設（公民館、コミュニティセンター）、青少年教育施設、子育て支援関連施設、高齢者施設、児童福祉施設、図書館、博物館などをユニットにしてまとめてはどうか。 	
15	佐野 明	9	10	<p>（委員会での意見）</p> <p>生涯学習にスポーツが入っているが、ここに市民体育館、グラウンドなどが記載されていない。</p>	
16	矢野 正	9	10	図に、幼保連携認定こども園が記載されているが、こども園でいいのではないかと。	10ページの内容に修正いたしました。
17	安藤 八枝	9	10	<p>主な市内障害学習関連施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉センターハートフル=障がいのある方の学習 ・ ユースプラザ=学習生活支援、貧困田対策、ひとりも取りこぼさない支援 ・ 福祉文化会館=文化芸術 <p>→以上の施設は図には必要ないか。</p> <p>また、できれば社会福祉協議会やボランティアセンター、災害ボランティアセンターも検討してほしい。</p>	
18	野崎 洋司	11以降	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「課題」1行目「…学校・家庭・地域等」の表記の整合 →他の箇所は「学校・家庭・地域の…」と表記。 ※25、29ページ「（2）学校、家庭、地域・団体…」との整合も必要。 	文言を統一いたしました。
19	落合 佳人	11以降	11	前回の会議で話が出たが、将来に向けての取り組みにおいては、「コロナウイルス」と限定せず「感染症等」という言い方のほうがよいのではないかと。	

1 検討や確認が必要な内容のご意見

20	井上 泰志	11以降	11	(委員会での意見) この計画は10年間の計画で、10年後どうなっているのか。コロナのことは何等かのことは触れるべきである。	本計画策定時においては、「新型コロナウイルス感染症」による影響が大きく、取組み内容にも関連するため、そのまま記載いたします。今後につきましては、見直しの時点で検討をいたします。
21	三輪 紀雄	11以降	11	(委員会での意見) コロナのことについてですが、コロナに限定しないで、感染症という立場で記載してはどうか。	
22	野崎 洋司	19	35	・【社会の動向】(ア)社会的包摂の実現 →「インクルーシブ社会の実現」として「インクルーシブ社会」の語句説明を欄外に記述してはどうか。	用語説明に「インクルーシブ社会」を追加しました。
23	桑本 由利子	22	37	(ウ)の e-learning 学習システム「いばらきっ子スタディ」を導入し、放課後や・・・の部分で、現在は「いばらきっ子スタディ」ではなく、「タブレットドリル」に変更している。文章では現在も「いばらきっ子スタディ」を使用しているように感じる。	現状の内容に修正をしました。
24	佐野 明	23	41	みんなの“楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木 このキャッチフレーズについて、とっても良いと思うが、ゼロからの出発でない人もいることを考えれば、「見つかる」が、「ひろがる」や「ふくらむ」であっても良いと思う。	委員会におきましてご意見をうかがいます。
25	山田俊一	23	41	I 目指すべき姿 「みんなの楽しいが見つかる生涯学習のまち茨木」に対する意見 基本目標の「学びづくり、人づくり、まちづくり」を活かして作成した案。 ・学びづくり、人づくりでめざす 次なる茨木 生涯学習のまち ・ともに学び 楽しみ 活かす 生涯学習のまち茨木	
26	安藤 八枝	23	41	I 目指すべき姿 3行目 “学んで楽しい”について ・生涯学習に取り組む理由にも挙げられているが、「何かを得るため」ではなく「学び自体が楽しい」と感じてもらえればと思う。学習＝勉強ではなく、趣味活動も学びだと伝えられたら良いと思う。	
27	安藤 八枝	23	41	I 目指すべき姿「みんなの”楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」について 「生涯学習センター きらめき」という愛称があるので、「きらめき」を活かせるの良いと感じた。 例：きらめき ひらめき (はばたく) まなびのまち 茨木 ↑市の鳥がはとですので 生涯学習推進計画も『きらめきプラン』など愛称で呼ばれた方が「学習」が全面に出て、親しみやすいのではないか。	
28	内山 淳子	23	41	・目指すべき姿のキャッチフレーズについて、出された案(「わたしが生きる あなたが生きる 生涯学習のまち 茨木」、「人が伸びる まちが伸びる 発展する生涯学習のまち茨木」など)は大変良いと感じた。今後、パブリックコメントを経てまとめられていくのが楽しみである。	

1 検討や確認が必要な内容のご意見

29	落合 佳人	23~24	42	ここで定義している「学びづくり」「人づくり」「まちづくり」からすると、24ページ下段のイラストで、3つの円の交わる場所を「自己実現」とするのは誤りだと思う。交わらないところにも「自己実現」はあると思う。 この3つの円が交わる部分とは何か。それは「茨木はこの3つが実現する場所ですよ」すなわち「生涯学習のまち 茨木」だと思う。	計画書42ページの内容に修正をしました。
30	佐野 明	24	42	図について、「学びづくり」「人づくり」「まちづくり」の中心に来るのは、自己実現ではなく、みんなの“楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木の実現 ではないか。	計画書42ページの内容に修正をしました。
31	野崎 洋司	24	42	・イメージ図の中心「自己実現」 →「豊かな人生」としてはどうか。	
32	桑本 由利子	24~25	42	最初は P24 の図式と P25の図式は同じ内容を指していると思ったが、P24 は市民、一人ひとりの目指すべき姿への進め方だと思うが、P25は誰に対しての目指す姿の進め方なのか。キャッチフレーズを「みんなの楽しいが見つかる生涯学習のまち茨木」であれば、茨木市の目指す姿と受け取れる。また、P24、25 の図式が同じ市民、一人ひとりであれば、図式をひとつにまとめればよいと思う。	計画書42ページの内容に修正をしました。
33	内山 淳子	24	42	・人づくり、学びづくり、まちづくりの中心部には、「自己実現」の他に「社会」を意味する語句が入ると良いと思う。具体案としては「相互扶助」「助け合い」など。	
34	安藤 八枝	24	42	図については、すべての要素が絡み合っ高まっていく感じが出せればと思う。	
35	山田俊一	25	43 全体	目指すべき姿、基本目標、取組の記載について 1) 取組の内容は、基本目標に対する取り組み方針であるので「取組」⇒「取組方針」に変える方が良いのではないか。 2) 頁11、第3章で社会の動向と市の現状から見える課題から第4章生涯学習の推進で基本目標と取組みについて記載されており、次いで基本目標を1. 学びづくり、2. 人づくり、3. まちづくりとして、取組方針へ展開され、次頁26以降に具体的な内容が詳しく記載されている。長文を読み通していかなければならず、理解するのが難しく時間がかかると思う。 そこで、提案ですが、前段に基本目標—取組（方針）—（取組）内容の概要を示す図表を設ければ理解しやすいと思う。 また、年代別（ライフステージ）に応じた目標設定や取り組み内容の図表は作成、記載できないか。利用を考える一般市民にとっては、分かりやすいのではないか。例えば以下のような項目・内容を図表化する。 ①世代別は、乳幼児期、小・中少年期、高校・大学青年期、壮年期、高齢期の5段階くらいを記載 ②世代の特徴と適した学習内容（目標設定）を記載 ③それぞれの具体的な取組例（学校教育も含む事業内容）を記載する	1) につきましては、「取組」で記載をしていきます。 2) 体系図を掲載をいたしました。また、年代別での取組内容については、記載をしないこととします。
36	桑本 由利子	32~33		年表の字が小さすぎて、読みにくい。もう少し大きくできないか。	年表は、読みにくいので削除いたしました。
37	野崎 洋司	全体		・今後、作成予定の「概要版」（イメージ図的なもの）が市民目線で分かりやすいものになればよいと考える。	

1 検討や確認が必要な内容のご意見

38	高尾 末男	全体		生涯学習推進計画案を市民のへ示しする場合、写真やフローチャート的な図表等に表示するなどして、理解しやすい簡略版の制作をお願いしたい。	
39	内山 淳子	全体		・多くの委員の意見に出さしていたように、「生涯学習とは何か」「その目標と計画」を市民に分かりやすく伝えることは重要である。視覚的な分かりやすさのために、随所に挟み込む「図表」が役立つように思う。	わかりやすい概要版を作成いたします。
40	高尾 末男	全体		(委員会での意見) 推進計画の冊子を作成し、概要版も作成していく話があったが、どのようなものを掲載していくかが概要版では大事。1ページのイメージ図のようなものを視覚でとらえて行くことが大事だが、社会教育とは何ぞやというものが大上段にあると難しく感じる。市民にわかってもらおうとすれば、概要版をわかりやすく作成していくことが非常に大事だと思っている。	
41	山田俊一	全体		本計画案は、難度の高い内容で構成されているので、理解するのに時間を要する。行政が策定するに当たっては、なるべく市民が見て、分かり易く利用しやすいものにして欲しい(図表やイラストの挿入)。また、関連施設の一覧や所在地地図を加えていただければ、市民の方は利用しやすいと思う。分かりやすい概要版の作成をお願いしたい。	わかりやすい概要版を作成いたします。
42	山田俊一	全体		表紙のデザインについて 茨木市のロゴマーク、市の花、目指すべき姿「みんなの 楽しいが見つかる 生涯学習のまち 茨木」を挿入してみてもどうか。	参考とさせていただきます。

2 その他 ご意見・感想・質問など

1	高尾 末男	9		(委員会での意見) 9ページに関連施設があるが、その施設に冊子を作って置き、どこに、誰が参加できるのか、どこが利用できるのかがわかるのがわかるようにすればいい。	ご意見を参考に今後、検討してまいります。
2	山田俊一	18		出前講座のテーマには、どのようなものがあるのか。依頼は、自治会単位でもできるのか。依頼の手続きはどのようにすれば良いか。また出前講座のオンラインでも可能なのか。(身体の不自由な方や高齢者向けに)	出前講座の詳細につきましては、生涯学習センターのホームページや公共施設に設置しております冊子で内容や手続きにつきましてご案内をしております。ご参照ください。

2 その他 ご意見・感想・質問など

3	山田俊一	26~27	<p>1. 学びづくりの取組</p> <p>(2) 自己を高めるための学び直しの支援 学び直し支援者、団体の大学や民間事業者名を記載できないか。 例；大学：立命館大学、追手門大学、梅花女子大学等 民間事業者</p> <p>(3) AIやICTを活用した学びの場の提供 計画予定のある学びの場、講座例を記載することはできないか。</p> <p>(4) 生涯学習の情報提供と相談窓口の充実 具体的な情報誌名（文化振興課発行のNext Stageなど）広報誌名（広報いばらき イベント情報など）の紹介やインターネット・サイトを記載することはできないか。</p> <p>(5) 各地域の生涯学習関連施設を拠点とした生涯学習の推進 （注釈）前述の図（生涯学習関連施設）の記載頁をと付記すると良いのではと思う。</p>	<p>具体的な内容につきましては、事業の取り組みの中で検討してまいります。</p>
4	山田俊一	28	<p>2 人づくりへの取組</p> <p>(1) 生涯学習活動団体等への支援 生涯学習活動団体や「社会教育の推進を図る活動」「まちづくりの推進を図る活動」「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」「子供の健全育成を図る活動」等の様々な活動を行っているNPO法人等を紹介するもの（一覧表）を添付資料として加えることはできないか。市民への情報提供により、更に活用が高まるものと思う。</p> <p>(3) 地域人材の発掘と活用 仕組みづくりの検討についての担当部署は、どこか。仕組みづくりは、どのようなもの（構想）か。</p>	<p>計画の内容につきましては、文化振興課（生涯学習センター）が担当課となります。 様々な活動についての紹介は、情報提供誌やホームページを活用して取り組んでまいります。</p>
5	山田俊一	全体	<p>私はボランティア講座に関心が深く、できれば参加したいと思っている。 講座にはどのようなものがあるか。参加資格を得るためには必要なことはあるか。</p>	<p>ボランティア講座につきましては、生涯学習センターが担当しており、ホームページや生涯学習情報誌等でご案内をしております。</p>
6	山田俊一	全体	<p>市民参加の茨木市生涯学習だより「まなびどり」の復刊できないものか。 編集ボランティア市民数名と生涯学習係スタッフにより取材、草筆、編集（発行：文化振興課） 茨木市の史跡、生涯学習講座の紹介、生涯学習施設や学校紹介や活躍中のグループ・市民の紹介など、とても内容豊富の生涯学習だよりであった。</p>	<p>「まなびどり」は「NextStage」と名称を変えまして、編集ボランティアの皆さんと継続して発行しています。 なお、ご指摘の施設の地図や案内などにつきましては、「NextStage」の中で掲載を検討いたします。</p>
7	山田俊一	全体	<p>学習内容については、年代（ライフステージ）ごとに傾向や要望が異なるので、各年代に応じた事業内容・環境整備が必要と思う。 乳幼児期、小・中の少年期、高校・大学の青年期、働き盛りの壮年期、高齢期にと。 樹木、例えば、小・中少年期～高校・大学青年層は主に学校教育であり、樹木で言えば、根元の年代で、青年期、壮年期、高齢期と枝分かれしていくと考える。 茨木市HPの中にある茨木三昧のサイトで少年期の小・中教育の取組が紹介されている。茨木っこ力を育む新ルール、GIGA構想や教育支援サポート等で大変心強く感じた。 高齢期にとっては、余暇時間の再教育（リカレント）、ボランティア活動等居場所のを見つけや社会還元を求めている方が多いのではないかと。事業内容について分かりやすい情報提供と発信を希望する。</p>	<p>取り組みの参考とさせていただきます。</p>